

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	十全看護専門学校
設置者名	一般財団法人 積善会

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
医療専門課程	看護	夜・通信	84	9	
		夜・通信			
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<http://www.jyukan.ac.jp/info/jitsumu>

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-②【(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置】

※ 様式第2号の2-①に掲げる法人以外の設置者（公益財団法人、公益社団法人、医療法人、社会福祉法人、独立行政法人、個人等）は、この様式を用いること。

学校名	十全看護専門学校
設置者名	一般財団法人 積善会

1. 大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織

名称	運営会議
役割	<p>構成員の定数 10名（学校長以下、学校教員と外部人材である構成員） 構成員は、いずれも学校長が選任を行います。</p> <p>主な審議内容 1. 学校の規程の制定改廃 2. 学校の予算の執行計画 3. 学校の教育方針、教育計画及び教育内容に関する事項 4. 学校の人事の基準に関する事項 5. 学校の定員に関する事項 6. 入学者の選考 7. 学生の身分に関する事項 8. 成績査定に関する事項 9. その他、学校の運営管理に関し重要と認める事項</p> <p>審議の結果は、学校長の指示により教務会議に持ち帰り事業に反映させます。</p>
(備考)	2020年4月1日までに、外部人材の意見を反映することができる組織に関する規程の整備を確実に実施します。

2. 外部人材である構成員の一覧表

前職又は現職	任期	備考（学校と関連する経歴等）
病院看護部長	2019年4月1日～ 2020年3月31日	主たる実習病院看護部長
病院経理課長	2019年4月1日～ 2020年3月31日	主たる実習病院経理課長
訪問看護リハステーション 所長	2019年4月1日～ 2020年3月31日	主たる実習施設関連施設
(備考)		

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	十全看護専門学校
設置者名	一般財団法人 積善会

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業計画 (シラバス) の作成過程 授業計画 (シラバス) の作成は、前期開講の科目については前年度の9月、後期開講の科目については1月までに科目担当者が行い、各講師に依頼します。2月～3月、学校長の了承を得て決定します。 ・ 授業計画 (シラバス) の公表時期 3月末～4月 	
授業計画書の公表方法	http://www.jyukan.ac.jp/info/syllabus
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)	
<p>授業科目には、講義と実習があります。又、講義の中には実技を伴う科目もあるため、其々の評価を総合して、単位を認定しています。</p> <p>学習成果の評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 講義 講義の評価は、各科目の終講時に行う学科試験により行います。(学期末に複数の学科試験がまとめて行われる場合、学期試験と言います) 実技を伴う科目の場合は、学科試験の他に、実技試験を行います。 いずれも、試験を受けるためには講義時間の3分の2以上の出席が必要です。 尚、講義の評価にあたっては、平素の学習状況(講義やグループワーク、カンファレンス、ディスカッション等への出席や参加の状況・態度、課題の提出状況等)も評価対象とし、学科試験と総合して100点満点中60点以上を及第点とします。 ・ 実習 実習の評価は、学生の実習内容・実習態度について、実習指導を担当した臨床実習指導者及び実習担当教員が行います。評価は、実習評価基準により、実習内容(実習中の記録や終了レポート)に関する評価(70%)、実習中の行動に関する適正態度評価(30%)を総合して、100点満点中60点以上を及第点とします。 尚、実習の評価にあたっては、実習の中間及び終了時にカンファレンスを行い、学生の自己評価をもとに、理解を深められるよう指導助言を行います。 特に、実習の単位取得には、指定時間の出席が必要であるため、やむをえない事由による欠席に対しては、補習実習を認めます。 	

<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>科目（講義・演習・実習）ごとの成績評価は、100点満点の点数に換算し、優を100～80点以上、良を80～70点以上、可を70～60点以上、60点未満を不可とします。</p> <p>学年末の成績評価は、1年間に履修した全ての科目の得点を合計し平均点を算出します。成績一覧表を作成し、成績分布を把握します。</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>http://www.jyukan.ac.jp/info/disclosure</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>本校は、看護に必要な知識と技術を習得し、誠実に人と向きあい、生涯学び続けることを通して、保健医療福祉の向上に貢献できる看護師の育成を目指しています。(学則第1条)</p> <p>卒業にあたっては、看護師として活動実践に必要な以下の資質・能力を身につけることを求めます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 対象となる人を全人的にとらえる力 2. ヒューマンケアを実践する力 3. 専門職業人としての倫理観 4. 保健医療福祉チームの一員として地域社会に貢献できる力 5. 専門職業人として学び続ける力 <p>卒業認定は、運営会議において 所定の課程を修了し、卒業試験の合格を以て、上記の卒業要件を満たすと判断された者に対し卒業を認めます。</p>	
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<p>http://www.jyukan.ac.jp/info/disclosure</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	十全看護専門学校
設置者名	一般財団法人 積善会

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	学校玄関掲示板に掲示し、希望者には書面で渡す
収支計算書又は損益計算書	学校玄関掲示板に掲示し、希望者には書面で渡す
財産目録	学校玄関掲示板に掲示し、希望者には書面で渡す
事業報告書	学校玄関掲示板に掲示し、希望者には書面で渡す
監事による監査報告（書）	学校玄関掲示板に掲示し、希望者には書面で渡す

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	看護	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	97 単位	63 単位	11 単位	23 単位	0単位	0単位
	夜		97単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
90人		86人	0人	9人	66人	75人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 3年間の積み上げとし、1年次には看護の対象となる人間と生活・社会を理解するとともに、人体の構造と機能や疾病の成り立ちと回復の促進、基礎看護技術等を講義→演習→実習と知識と実践がつながるように学びます。実務経験が豊富な講師陣が教育にあたります。2年次には1年次の基礎を土台とし、精神看護学を軸にして対象（老年・成人・小児・母性）ごとに必要な看護の知識と方法を学びます。3年次には2年次の学びを生かして対象（老年・成人・小児・母性）ごとの実習でその人らしい生活が送れるように看護を実践し、看護の方法を学びます。最終となる統合実習を経て専門職業人としての卒業後の看護師として働く自分の姿がイメージできるようにします。
成績評価の基準・方法
（概要） 授業科目の学修成果の評価は、学習意欲・出席状況・試験やレポートの提出等、あらかじめ授業計画に示された評価方法と評価基準によって評価し、これに基づいて単位の授与を行います。

卒業・進級の認定基準			
(概要)			
卒業認定について			
<p>本校は、看護に必要な知識と技術を習得し、誠実に人と向きあい、生涯学び続けることを通して、保健医療福祉の向上に貢献できる看護師の育成を目指しています。(学則第1条)</p> <p>卒業にあたっては、看護師として活動実践に必要な以下の資質・能力を身につけることを求めます。</p>			
<ol style="list-style-type: none"> 1. 対象となる人を全人的にとらえる力 2. ヒューマンケアを実践する力 3. 専門職業人としての倫理観 4. 保健医療福祉チームの一員として地域社会に貢献できる力 5. 専門職業人として学び続ける力 			
<p>卒業認定は、運営会議において 所定の課程を修了し、卒業試験の合格を以て、上記の卒業要件を満たすと判断された者に対し卒業を認めます。</p>			
進級認定について			
<p>進級認定は、運営会議において、 当該学年の学年末に学業成績の評価及び出席状況に基づいて審議を行い、 進級を認めます。 次の事項に該当する者は進級が認められません。</p>			
<ol style="list-style-type: none"> 1. 不合格の科目がある場合 2. 当該学年において3分の1以上欠席した場合 			
<p>ただし、学校長は、その欠席日数が当該学年授業、実習日数の3分の1未満の場合、補習教育または卒業延期により欠席した部分の課程を学ばせて進級または卒業させることができます。</p>			
学修支援等			
(概要)			
<p>クラス担任と学生支援担当教員を配置しています。 学習に関しては、3年次の国家試験対策はもとより、1年次から学生の状況に応じて個人又はグループで指導します。進路や生活全般についても相談・指導を行う他、必要に応じて、カウンセリングや受診の紹介等、家庭と協力しながら実施します。</p>			

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
31人 (100%)	0人 (0%)	30人 (96.8%)	1人 (3.2%)

(主な就職、業界等) 実習病院の他、地域の病院
(就職指導内容) 志望の動機や在学中の学び、現在の自己の課題、目指したい看護師像、働いてみたい分野領域等について面接指導します。
(主な学修成果 (資格・検定等)) 看護師国家試験受験資格
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
89人	1人	1.1%
(中途退学の主な理由) 学業不振による進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) クラス担任・実習担当教員は、定期的に面接相談の機会を持ち、学生の学習や生活状況を把握します。 学習支援が必要な場合は、学生支援担当教員と相談の上、経過によっては、教務主任・副校長に報告の上、保護者を交えて三者面談します。 いずれも学生の意志を尊重しつつ、学習継続を目標に対応しています。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
看護	200,000 円	480,000 円	170,000 円	
	円	円	円	
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://www.jyukan.ac.jp/cp-bin/wordpress/images/info/jikohyoka_h30.pdf		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)		
<ul style="list-style-type: none"> ・学校関係者評価委員会の開催にあたり委員の選出 卒業生の就職先の病院看護部長・看護職職能団体の代表者・卒業生の代表 在学生のPTA・入学生の母校である高校教諭 等で構成 ・評価委員会において評価する項目 入学者の受入方針・教育課程の編成実施に関する方針・卒業認定に関する方針 <p>評価結果を運営会議及び教務会議に持ち帰り教育活動その他学校運営の改善等事業に反映させます。</p>		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
2020 年度から評価を確実に実施するために委員の選任を行う		
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 2020 年度から評価を確実に実施・公表する		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)

<http://www.jyukan.ac.jp/>